

容量停止計画の調整業務について

2023年9月11日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

※本検討会は、資源エネルギー庁と電力広域的運営推進機関の共同事務局により開催している。

1. はじめに
2. 容量停止計画の追加・変更について（対象実需給年度2024年度分）
3. 対象実需給年度2025年度の調整業務のポイント
 - ①容量停止計画の調整業務の留意点
 - ②容量停止計画の調整業務を実施するブロック構成
4. 対象実需給年度2025年度の調整業務の実施スケジュール

- 容量停止計画の調整業務は、定期補修等で出力が停止または抑制する時期について、実需給年度の2年度前に、供給信頼度を確認しながら実施時期の調整を行うものである。
- 対象実需給年度2024年度の落札電源について、**実需給年度の2年度前にあたる2022年度に容量停止計画の調整業務**を実施した。
- 対象実需給年度2025年度の落札電源については、**実需給年度の2年度前にあたる2023年度に、容量停止計画の調整業務**を行うことを予定している。
- 本日は、**昨年度実施分の容量停止計画の調整期間終了後の追加・変更の手続き方法、提出済みの計画の訂正の申告に伴う影響の確認**、および2023年10月から開始する**今年度の容量停止計画調整業務の準備状況**をご報告する。

- 対象実需給年度2024年度の容量停止計画については、**2022年12月末までに容量停止計画の提出や調整を実施。**
- 調整期間の終了後に、作業停止計画調整や状況の変化など、やむを得ない理由にともない停止作業等が追加・変更となる場合については、容量提供事業者による**容量停止計画の追加・変更の手続きについて問合せ**を寄せられていることから、手続き方法と留意点について次頁以降で紹介する。

1. 容量停止計画調整業務のスケジュール (2/2)

10

第39回容量市場の在り方等に関する検討会資料より

■ 2020年度のメインオークションで約定した電源は、容量停止計画の調整業務に係る手続きを、2022年度の以下スケジュールで実施することを予定している。

- ▶ 容量停止計画の提出 …… 容量停止計画の作成、提出 (2022年 7月、10月)
- ▶ 容量停止計画の調整 …… 作業計画の調整 (2022年11月～12月)
- ▶ 容量確保契約金額の減額 …… 調整に応じられない理由の提出 (2023年 1月～2月)

【容量停止計画の調整業務に係る実需給2年前のスケジュール】



※作業停止計画調整マニュアルにおいて、一般送配電事業者が流通設備作業に同調することを基本として調整を行うと規定された電源

2. 容量停止計画の追加・変更について（対象実需給年度：2024年度） 調整期間終了後における容量停止計画の追加・変更の手続き

- 調整期間の終了後に容量停止計画を追加・変更する際は、以下の手順をご案内している。
 - ① 作業変更等の必要が生じた場合に作業工程を再検討
 - ② 調整後の作業日程で、作業変更により影響を受ける他の事業者※1の同意を得る※2
 - ③ 関係者の同意が得られた後に、本機関に変更内容をメール※3で報告する。
 - ④ 容量市場システムに追加・変更後の容量停止計画を登録※4する。
 - ⑤ 本機関にて、適宜供給信頼度の確保状況を確認※5する。

※1：影響を受ける他の事業者については属地一般送配電事業者を確認

※2：同意を得るための調整は容量提供事業者が主体的に実施

※3：【報告先】容量市場受付窓口 (youryou_uketsuke@occto.or.jp)

※4：供給計画や作業停止計画の内容と整合させる

※5：供給信頼度に影響を与え経済的ペナルティの対象となる場合、本機関より対象となる事業者に個別に連絡

2. 容量停止計画の追加・変更について（対象実需給年度：2024年度）

調整期間終了後における容量停止計画の追加・変更の状況

- 調整期間終了後から現時点までにおいて、**一部の事業者より追加・変更の連絡を受けており、その中に、調整期間中に提出済みの容量停止計画において、出力可能容量の算定誤り※¹があり、登録内容の訂正を行いたい旨の申出があった。**
- 本機関において、**訂正を反映した場合の供給信頼度の確保状況（調整期間終了時点）の影響を確認**を行った。
- 確認の結果、**供給信頼度の確保状況は訂正前の傾向と変わらず、調整期間終了時点で公表している判定結果や減額の算定に大きな影響を与えるものではなかった**と考えられる。
- しかし、訂正の規模によっては、他事業者の調整や容量確保契約金額の減額に影響を与えるおそれがあったことから、**当該事業者には算定の誤りについての原因分析と再発防止策の徹底、今後、本業務を適切に行っていくことを求めた。**

※1 誤りの例

- ・作業計画の重複
- ・算定のベースとなる出力にアセスメント対象容量ではなく供給計画値を誤用
- ・停止を伴う作業を停止を伴わない作業と誤認 など

(参考) 訂正にともなう供給信頼度確保状況の影響確認結果

<容量停止計画調整 (対象実需給年度2024年度) の調整期間終了時点の公表データ>

- 各月において複数者合計で **▲20万kW～+28万kWの出力可能量の訂正**であった。
- 再計算の結果、供給信頼度の値は変わるものの、**訂正後の供給信頼度と訂正前の供給信頼度の確保状況の傾向は変わらなかった。**
- また、**出力可能容量が減少する4月や6月においても供給信頼度の判定が変わらない範囲**であり、減額等にも影響がないことが確認できた。

容量停止計画訂正による調整期間終了時点の供給信頼度への影響 (単位) 訂正量 : 万kW EUE : kWh/kW・月

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
訂正量	ブロック1	▲8	+16	▲20	0	0	0	+5	+28	+5	0	0	0
	ブロック2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
EUE 訂正後	ブロック1	0.0003	0.0001	0.0015	0.0008	0.0018	0.0000	0.0001	0.0054	0.0000	0.0004	0.0001	0.0000
	ブロック2	0.0283	0.0283	0.0006	0.0008	0.0010	0.0002	0.0001	0.0002	0.0004	0.0013	0.0010	0.0006
EUE STEP3	ブロック1	0.0003	0.0002	0.0011	0.0008	0.0018	0.0000	0.0001	0.0069	0.0000	0.0004	0.0001	0.0000
	ブロック2	0.0283	0.0283	0.0006	0.0008	0.0010	0.0002	0.0001	0.0002	0.0004	0.0013	0.0010	0.0006
EUE 基準緑	ブロック1	0.0014	0.0008	0.0020	0.0005	0.0019	0.0014	0.0010	0.0017	0.0001	0.0006	0.0002	0.0012
	ブロック2	0.0369	0.0486	0.0238	0.0007	0.0012	0.0041	0.0288	0.0115	0.0005	0.0019	0.0011	0.0137
EUE 基準赤	ブロック1	0.0062	0.0054	0.0121	0.0025	0.0070	0.0059	0.0045	0.0071	0.0005	0.0022	0.0011	0.0062
	ブロック2	0.0760	0.0975	0.0592	0.0031	0.0047	0.0121	0.0596	0.0289	0.0018	0.0060	0.0034	0.0337

- 供給信頼度(EUE)の基準を超過している月を着色
 基準緑 : 追加設備量を利用する基準
 基準赤 : 供給信頼度に影響を与える基準
- 訂正量は出力可能量(供給力)の増減として記載

3. 対象実需給年度2025年度の調整業務のポイント

①容量停止計画の調整業務の留意点

- 容量停止計画の調整業務については、このあと**10月末**までに**容量停止計画**※1が提出され、**11月から12月末**の間で**容量停止計画の作業時期の調整**を行っていくことを予定している。
- 容量停止計画の調整業務の実施に向け、本検討会において変更部分等の報告を行ったうえで業務手順などをまとめた**業務マニュアルを6月に公表**※2するとともに、対象実需給年度2025年度の容量停止計画の調整業務の留意点などを事業者に向けて周知する**実務者向け説明会**※3を**6月**に実施し、**説明会資料を公表**している。
- 現在、対象実需給年度2025年度の**調整業務の留意事項**や、**調整状況等をHPで公表**する準備を行っている。
- また、容量停止計画の作成や変更を行う**事業者の作業を支援**するため、事業者向けの**容量停止計画作成支援ツール**を9月末を目途に提供することを予定している。

※1：流通設備に同調を求める長期固定電源の容量停止計画は、7月末で提出期間が終了

※2：「業務マニュアル 容量停止計画の調整業務編」、「容量停止計画提出時の留意事項」をHPにおいて公表

※3：実務者向け説明会（6/27開催）に、57名（36事業者）が参加

【業務マニュアル：容量市場業務マニュアル 容量停止計画の調整業務編(実需給年度の2年度前に行う容量停止計画の調整)】

https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/2025_jitsujukyu_kanren.html

【説明会資料：対象実需給年度2025年度 容量市場 実務説明資料（容量停止計画の調整業務）】

https://www.occto.or.jp/market-board/market/youryou_setsumeikai.html

【容量停止計画調整業務に関する情報：容量停止計画提出時の留意事項】

<https://www.occto.or.jp/market-board/market/jitsujukyukanren/chousei/2025/index.html>

- 容量提供事業者が提出する**容量停止計画CSVの作成を支援するツール**の提供を予定している。
- 2022年度に実施した容量停止計画提出・調整業務の内容や、事業者から頂いたご意見・問合せ等を踏まえて、各事業者による容量停止計画の作成に際し、手順や算定ロジック等を盛り込んだツールを準備することとしている。
- 容量停止計画作成支援ツールの**提供時期を9月末頃**目途として準備を進めており、本機関のHPを通じて提供を予定している。

<2022年度の実施を通じていただいた実務担当者のご意見等>

- 「算定誤り防止や標準化の観点で、計画登録に先立ち、数値データに誤りが無いか等事前に確認ができるツールが欲しい」
- 「停止日数から出力可能容量を自動で計算して欲しい」
- 「月毎に分けて作成するファイル方法を改善して欲しい」
- 「容量停止計画のCSV形式ファイルの作成、編集の改修を希望」



- 容量停止計画作成支援ツールは、以下の機能の具備を予定している
 - 提出する容量停止計画のデータ作成を支援する機能（新規作成・提出した計画の変更に対応）
 - 対象の電源情報の取込、作業日程を入力することで、出力可能容量を自動算定※する機能
※算定に用いる諸元データは、容量市場システムからの出力データを使用
 - 提出用のCSV形式ファイルを自動作成、出力する機能

<支援ツールのイメージ>

The image displays two overlapping Excel spreadsheets representing the tool's interface. The top spreadsheet is the 'Main Menu' (メインメニュー画面), which is organized into four columns: 'Information Acquisition' (情報取込), 'Check' (チェック), 'Creation/Calculation' (作成・算定), and 'Output' (出力). Each column contains specific function buttons: 'Information Acquisition' includes 'Expected Capacity Calculation Data List Creation' (期待容量等算定諸元一覧作成) and 'Plan Change Base Creation' (計画変更 ベース作成); 'Check' includes 'Input Information Check' (入力情報チェック); 'Creation/Calculation' includes 'Capacity Stop Plan Creation' (容量停止計画作成) and 'Output Possible Capacity Calculation' (出力可能容量算定); 'Output' includes 'Capacity Stop Plan Output' (容量停止計画出力). A dashed box on the right highlights the tool as 'Easy-to-use Excel-based tool for inputting work plan information and automatic calculation of output possible capacity' (作業のしやすいExcelベースでのツール 作業計画情報の入力し、出力可能容量を自動算定). The bottom spreadsheet is the 'Work Plan Information Input Screen' (作業計画情報入力画面), showing a table with columns for 'Business Code' (事業者コード), 'Power Identification Number' (電源等識別番号), 'Branch' (枝番), 'Area Acceptance Number' (広域受付番号), 'Power Replacement ID' (電源等差替ID), 'Replacement Power Identification Number' (差替元電源等識別番号), 'Work Start Date' (作業開始年月日), 'Work Start Time' (作業開始時分), 'Work End Date' (作業終了年月日), and 'Work End Time' (作業終了時分). The bottom status bar shows the tool is ready for use (準備完了) and requires security checks (アクセシビリティ: 検討が必要です).

(参考) 対象実需給年度2025年度の調整業務における変更点の紹介

(1) 調整STEPのスケジュールの変更

第47回本検討会で報告

- 「調整期間のSTEP1の期間延長、STEP4の年末時期の回避」など、事業者からの期間設定のご意見も踏まえつつ、期間設定について運用状況を踏まえた変更を行い、調整を行う期間のうち11月～12月のSTEP1～4のスケジュール変更している。
- また、供給計画の提出時期を考慮し、容量停止計画の調整期間（11月～12月）の全体期間の設定については昨年度どおりとしている。

調整STEP		対象実需給年度 2024年度	対象実需給年度 2025年度	期間の差
STEP1	全ての電源が時期の変更を可能とする。	11月第1週～11月第2週 (2週間)	11月第1週～11月第3週 (3週間)	+ 1週間
STEP2	全ての電源が時期の変更を可能とする。 ただし、供給信頼度に影響を与える月への変更は不可とする。	11月第3週～12月第1週 (3週間)	11月第4週～12月第1週 (2週間)	▲1週間
STEP3	原則、調整不調となっている電源が時期の変更を可能とする。ただし、供給信頼度に影響を与える月への変更は不可とする。	12月第2週～12月第4週 (3週間)	12月第2週～12月第3週 (2週間)	▲1週間
STEP4	供給信頼度に影響がある場合のみ個別調整	12月第5週 (1週間)	12月第4週～12月第5週 (2週間)	+ 1週間

(2) 調整不調電源の判定基準について

第47回本検討会で報告

- 対象実需給年度2024年度において、STEP1では調整対象電源が多いため、容量提供事業者が調整実施量を判断しやすいことを考慮し、各月の調達量から必要供給力を指し引いた「作業可能量」を調整不調電源の判定基準として設定していた。
- 対象実需給年度2025年度においては、「調整不調電源の判定基準のSTEP毎の統一化」など、事業者からの運用業務のわかりやすさのご意見も踏まえつつ、事業者の実務において判断のしやすさの観点から、全STEP共通で「供給信頼度（EUE）評価」を調整不調電源の判定基準とする形で変更を行っている。
- なお、調整実施量を判断しやすいように、「作業可能量」は、参考情報として公表を行うこととする。

	調整不調電源の判断基準	
	対象実需給年度 2024年度	対象実需給年度 2025年度
STEP1	作業可能量	供給信頼度 (EUE)
STEP2～STEP4	供給信頼度 (EUE)	

- 「容量市場システム利用時間の延長」や、「日々の供給信頼度公表（13時頃）以降の利用時間の確保」等、事業者からのシステム利用に関するご意見を踏まえつつ、供給信頼度の算定の情報提供のタイミングや、システム利用が可能な時間帯について変更を行っている。
- 具体的には、情報提供を行うタイミングを週2回（火・木）にすることで、他の曜日のシステム利用が可能な時間帯について延長を図ることとしている。



<イメージ（月～金が平日の場合）>

	月	火	水	木	金
容量提供事業者	9' 15' 18'	9' 18'	9' 15' 18'	9' 18'	9' 18'
広域機関		13' 公表		13' 公表	

3. 対象実需給年度2025年度の調整業務のポイント

②容量停止計画の調整業務を実施するブロック構成

- 対象実需給年度2025年度のメインオークションにおいて確保した容量における供給信頼度は、すべてのエリアにおいて充足エリアとなり単一のブロックで構成されている。
- 対象実需給年度2025年度の容量停止計画の調整業務はこのブロック構成にもとづいて実施することとなる。

3. オークション結果の集計・公表 (1) 供給信頼度 [1/2]

容量市場メインオークション約定結果
(対象実需給年度：2025年度) より

- 約定処理の結果、オークションで確保した容量における供給信頼度は下記のとおりとなった。
- 全国の供給信頼度は、0.017 kWh/kW・年となった。
- 以降では、北海道エリア・九州エリアと北海道・九州エリア以外で区分した集計も行う。

注：四捨五入の関係で合計が合わないことがある。

		供給信頼度 [kWh/kW・年]	
目標調達量において維持される全国の供給信頼度基準値		0.048	
	供給信頼度※1 [kWh/kW・年]	想定需要	調達量※2
北海道	0.017	497 万kW	635 万kW
東北	0.000	1,333 万kW	1,973 万kW
東京	0.001	5,320 万kW	5,914 万kW
中部	0.001	2,448 万kW	2,736 万kW
北陸	0.000	496 万kW	660 万kW
関西	0.000	2,711 万kW	2,785 万kW
中国	0.000	1,033 万kW	1,219 万kW
四国	0.000	488 万kW	859 万kW
九州	0.008	1,511 万kW	1,958 万kW
合計		15,836 万kW	18,740 万kW

※1 供給信頼度は四捨五入により表記上、零になる場合があるが、実際には停電量[kWh/年]が発生している。

※2 FIT電源等の期待容量等を含む。(全国計で2,206万kW)

4. 対象実需給年度2025年度の調整業務の実施スケジュール

- 容量提供事業者は、対象実需給年度2025年度の容量停止計画の調整業務として、以下表のスケジュールに沿って、手続きを進めていくことを予定している。
- 本機関は、**本業務を通じて得た知見やご意見を活かし**ながら、調整業務の最適化を図っていく。

項目		期間	備考
容量停止計画の提出 (長期固定電源)	変換を依頼	2023年 7月14日まで	流通設備作業に同調を求める 長期固定電源が対象
	直接提出	2023年 7月31日まで	
流通設備作業情報の受領・共有		2023年 9月29日まで	属地一般送配電事業者より、発電制約が必要となる発電契約者に通知
容量停止計画の提出	変換を依頼	2023年10月17日まで	流通設備作業に同調を求める長期固定電源以外が対象
	直接提出	2023年10月31日まで	
容量停止計画の調整	STEP1	2023年11月 1日～11月17日	・提出済の容量停止計画を対象として停止時期を調整（新規提出不可）
	STEP2	2023年11月20日～12月 1日	
	STEP3	2023年12月 4日～12月15日	・STEP4は供給信頼度に影響を与える状況が解消されない場合に実施
	STEP4	2023年12月18日～12月28日	
容量停止計画の調整に応じることができない理由の提出		2024年 1月31日まで	
やむを得ない理由の審査結果の受領		2024年 2月14日まで	
審査結果への異議申立		審査結果受領後5営業日以内	
最終的な判断結果の確認		2024年 2月29日まで	